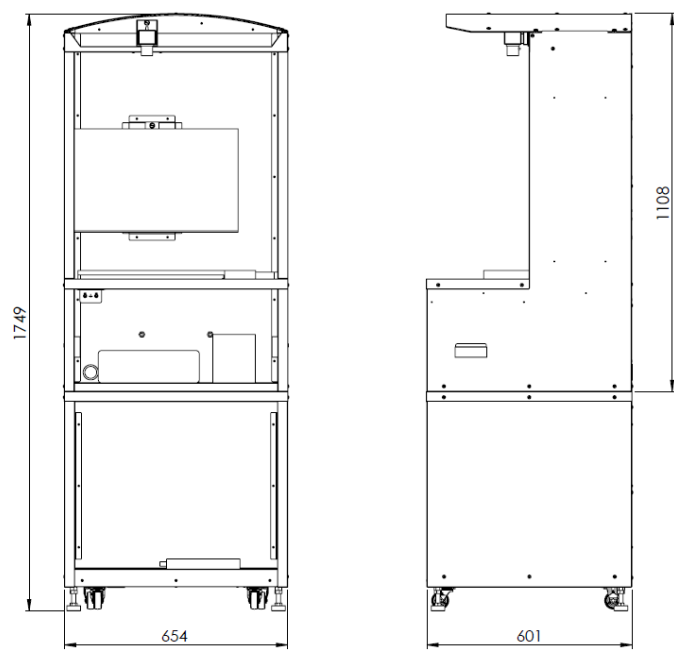
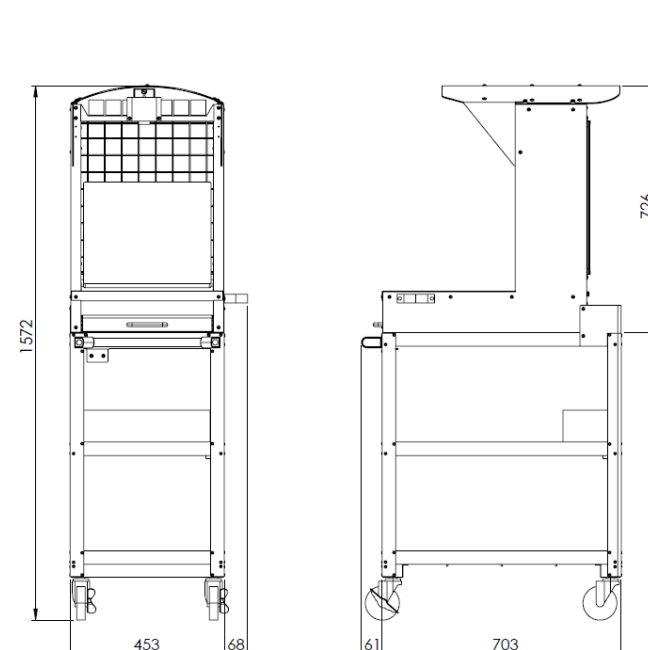


据え置きタイプ MC-110ST 外観図



台車タイプ MC-110KW 外観図


MC-110ST 構成

デスクトップPC	CPU core i5 WIndows10 Pro 64bit ドングル付き
モニタ	21.5インチ フルHD (1920×1080)
カラーカメラ	1/2.5インチCMOSイメージセンサ 500万画素
レンズ	メガピクセルCCTVレンズ 焦点距離12mm
入力デバイス	プログラマブルテンキー キーボード マウス
照明パネル	B 4サイズ 調光7段階 (A 3サイズ 特注)
トレー	B4,A6サイズ デインブル加工 帯電防止PET 各10枚

MC-110KW 構成

ノートPC	CPU core i5 WIndows10 Pro 64bit ドングル付き
モニタ	17インチ SXGA (1280×1024)
カラーカメラ	1/2.5インチCMOSイメージセンサ 500万画素
レンズ	バリフォーカルレンズ 焦点距離10-40mm
入力デバイス	ワイヤレスキーボード ワイヤレスマウス
照明パネル	A 4サイズ 調光7段階
バッテリー	626Wh 約10時間連続稼働 (満充電時)
トレー	A4,A6サイズ、デインブル加工、帯電防止PET 各10枚

共通オプション

バーコードリーダ	ハネウェル Xenon1900 高密度 ソロモンOCR付
ラベルプリンタ	ブラザー QL-800 感熱ロール紙 1セット
Excel	1プロダクトキー (ユーザーによる認証が必要)

仕様

外形 (W×H×D)	MC-110ST 654×1749×601mm (突起含まず) MC-110KW 453×1572×703mm (突起含まず)
重量	MC-110ST 約65kg / MC-110KW 約60Kg
電源	AC100V 50/60Hz 最大500W (オプション含む)

お問い合わせ先

 【 製造元 】 (株)大日光・エンジニアリング <http://www.dne.co.jp/>


※ このパンフレットの記載内容は2020年1月1日 現在のものです。

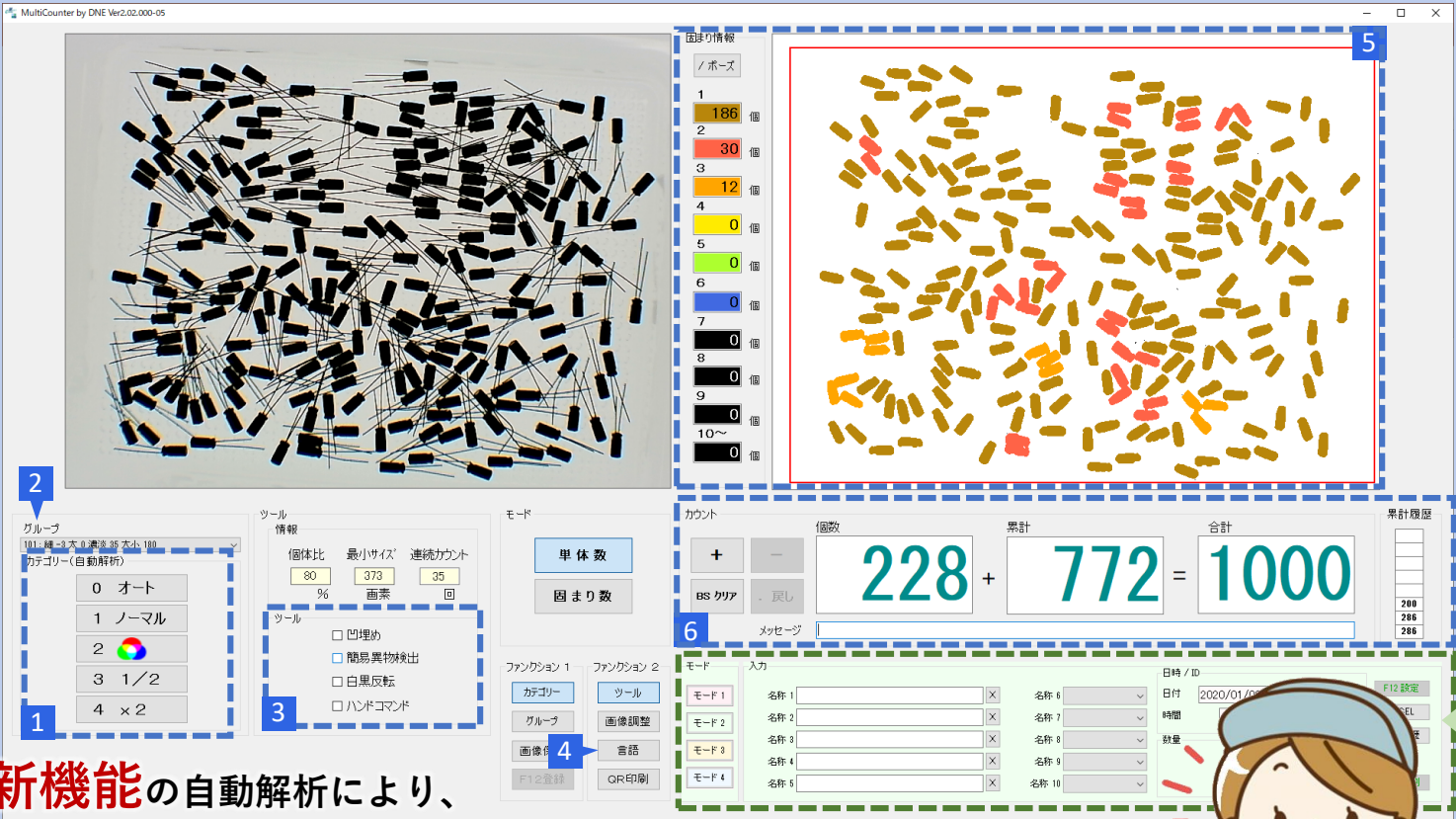


マルチカウンタ MC-110

電子部品画像計数器

カウンタ部

電子部品などの小さなパーツを瞬時に簡単カウント！



新機能の自動解析により、

誰でも！すぐに！簡単に！使えます

○ 自動解析・グループ登録

・パーツをトレーに広げて、ボタン1つ押すだけで、ほとんどのパーツの形状を瞬時に自動解析し、カウントします。**めんどろな部品ごとの登録は不要です。**

※自動解析できないパーツは、グループ登録し、呼び出すこともできます。グループ登録の設定はわずか4項目だけです（濃淡・大小・細・太）。グループ登録すると次回からの自動解析の候補とすることもできます。

○ 簡単カウント

- ・独自の画像カウントアルゴリズムでパーツ同士が接触していても、安定したカウントができます。
- ・カウント結果は累積加算することができ、大量でも小分けにしてカウントすることができます。また、加算履歴も表示されますので、加算キー押し忘れや2回押しを確認修正できます。
- ・トレーはディンプル（凸凹）を施すことにより、パーツを接触しにくくし、トレーを振ることで拡散しやすく、立っているパーツは倒れやすくする特長があります。



○ 独自の画像処理

- ・人は固まりの形を見てその数がわかります。マルチカウンタも固まりを構成数ごとに色分けしますので、人が見た数とマルチカウンタが認識している数がビジュアル的に確認でき、カウント結果の正確性が判断できます。
- ・パーツの影の状態により、誤差の度合が変化します。誤差の累積によりミスカウントの可能性が高い固まりを自動的に判定し黒で表示し、分離を促します。音声とメッセージでも注意を促します。

NEW 1	自動解析	2	グループ登録	3	ツール機能
4	多言語対応	5	独自の画像処理	6	簡単カウント

○ ツール機能

- ・**凹埋め**：短い円柱状のパーツなど置き方により面積が極端に変わってしまう場合、丸の中を埋めて面積を近似化しカウントします。
- ・**簡易異物検出**：多数の個体面積分布から外れたパーツがある場合、そのパーツに△マークをつけます（形状認識ではありません）。
- ・**白黒反転**：黒い敷物上の薄い乳白色パーツをカウントします。外部照明が必要です。
- ・**ハンドコマンド**：マウスレス化を目的とし、手の影で自動解析コマンドを発行できます。

○ 多言語対応

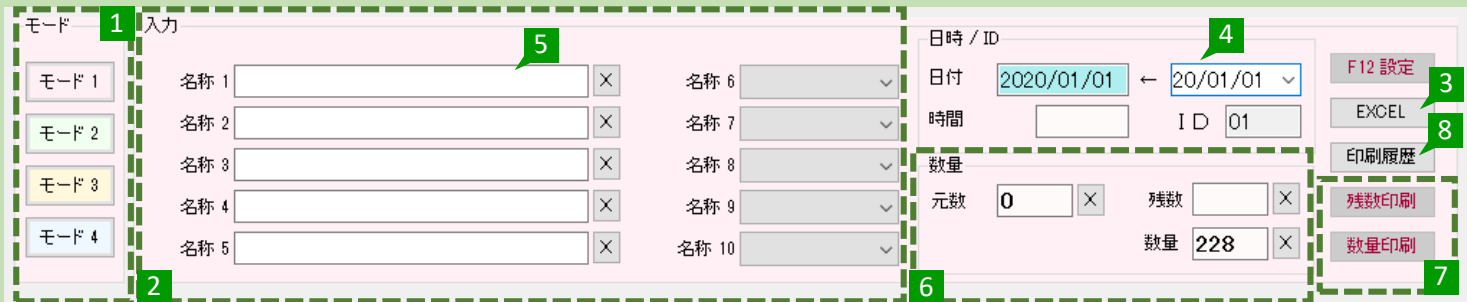
- ・5か国語対応
（日本語・英語・ベトナム語・ポルトガル語・中国語）



運用部

プログラムレスでQ R 帳票システムを簡単に構築！

1	モード	2	入力レイアウト	3	Excel 出力	4	日付変更
5	入力読み上げ	6	数量処理	7	帳票印刷	8	印刷履歴



○ モード

- ・帳票処理モード画面を最大4ページ作成できます。

○ 入力レイアウト

- ・最大10項目の入力項目をレイアウトできます。
- ・入力項目はテキスト入力と選択入力を設定でき、入力桁数に応じ4種類の大きさから選択できます。
- ・帳票のQRの内容は複数の項目に自動的に入力されます。
- ・バーコードリーダはQR（日本語含む）の他、ゴシック・明朝の英数字をOCR読み取りし、入力することができます。



○ Excel 出力

- ・入力項目と数量処理された結果と元画像をExcel のひな型ファイルの指定セルに出力することができ、簡単に資料を作成することができます。
- ・エリア内の元画像を縮尺比を変えずに自動的に縮小拡大し貼り付けます。



○ 日付変更

- ・棚卸のときなど帳票の日付を変更することができます。
- ・作業員の氏名が変わると自動的に元の日付に戻ります。

○ 入力読み上げ

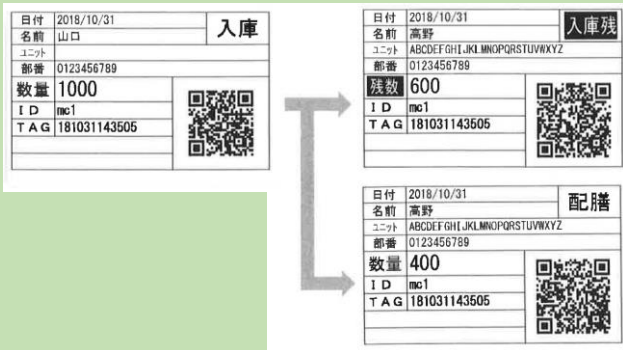
- ・QR入力の複数の項目を接頭語と接尾語をつけて、読み上げることができます。

○ 数量処理

- ・マルチカウンタでカウントした結果がリアルタイムで反映されます。
- ・例1）入庫票の数量が元数としてQRから入力され、カウント値である出庫数と残数の計算を行います。
- ・例2）カウント必要数を元数として入力すると、あと何個足りないかが残数に表示され、オーバーすると赤字でマイナス表示されます。

○ 帳票印刷・印刷履歴

- ・入力項目と数量処理された結果を帳票印刷することができます。
- ・帳票はプリンタの帳票作成ツールP-Touchで、簡単に作成することができます。
- ・印刷すると印刷内容が印刷履歴として帳票ごとのフォルダにCSV形式で保存され、トレーサビリティに寄与します。



○ カスタマイズ承ります

- ・運用部はカウンタ部とは別のアプリとなっていますので、ユーザー様様にて運用部のカスタマイズ開発も承ります。